

学校法人安城学園 創立100周年企画 **連続講演会**

# 東日本から学ぶ

8/11(土)～9/16(日) 会場 / 安城文化センター マツバホール

入場無料

東日本大震災から一年余が経過しました。  
安城学園はこの一年余に多くの高校生、大学生、教職員が被災地に出かけボランティアや演奏会を開催してきました。そして多くの人との交流も生まれました。  
東日本の人たちの素晴らしさや日本の発展に果たしてきた地域の役割の大きさにも気づくことが多々ありました。  
今回の連続講演会はこちらの思いの中から生まれた企画です。  
誰でも、何回でも参加できます。是非、多くの講演会に参加下さい。

8/11(土)  
14:00～16:00

3・11 東日本大震災…  
陸前高田の今



陸前高田市市長 戸羽 太氏

28歳で、陸前高田市の食品会社に入社。1995年に陸前高田市議選に出馬し、初当選を果たした。当選後は自由民主党系の会派「爽風会」に所属。2007年、中里市長から陸前高田市助役への就任を要請され、市議を辞職して助役に就任した。2011年、中里長門市長の引退に伴い、市民団体「あたらしい陸前高田市をつくる市民の声」から推され、無所属で陸前高田市長選への出馬を表明。当選を果たした。

8/18(土)  
14:00～16:00

震災・復興・文化



学習院大学教授、福島県立博物館館長 赤坂 憲雄氏

民俗学者、学習院大学教授、福島県立博物館館長。東北学を提唱した。1992年東北芸術工科大学助教授。東北文化研究センター設立後、1999年『東北学』を創刊。2007年『岡本太郎の見た日本』でドゥマゴ文学賞受賞(選考委員・荒川洋治)、2008年同書で芸術選奨文部科学大臣賞(評論等部門)受賞。2011年学習院大学教授。2011年4月東日本大震災復興構想会議委員。

8/25(土)  
14:00～16:00

震災を伝える  
～取材者として、支援者として



フリージャーナリスト 関口 威人氏

1973年、横浜市生まれ。早稲田大学大学院(建築設計)終了後、中日新聞社入社。名古屋本社社会部、文化部などを経て2008年に退社。名古屋を拠点に環境や防災をテーマとするフリージャーナリストとして活動。著書に「ぼくたちは何を失おうとしているのかーホネネの生物多様性」(2010年、樹林舎叢書)。名古屋の環境情報紙「Risa」編集長、災害救援NPO法人「レスキューストックヤード」の非常勤スタッフも務める。

9/15(土)  
14:00～16:00

森は海の恋人



国連平成23年度フォレスト・ヒーローズ受賞 畠山 重篤氏

NPO法人森は海の恋人理事長。日本の養殖漁業者、エッセイスト、京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授。「牡蠣の森を慕う会」代表。中国上海に生まれ、終戦後、父の実家がある宮城県唐桑町へ移住。宮城県気仙沼水産高等学校卒業後、牡蠣、帆立の養殖に従事する。漁業において上流山間部の森林が果たす役割の大きさに着目し、家業のかたわら、気仙沼湾に注ぐ大川上流の室根山への植樹運動を続ける。その活動は歌人・熊谷龍子の短歌の一節から「森は海の恋人運動」と名付けられ、小中学校の教科書にも掲載されている。

9/16(日)  
14:00～16:00

東日本から  
人間の生き方を学ぶ



大船渡市盛青年商工会会長 門田 晃明氏  
東日本大震災で津波被害を受けた大船渡市盛町中央商店街で店舗経営。昨夏は、震災で存続が危ぶまれた盛町灯ろう七夕まつりの開催に尽力し、安城七夕まつり協賛会やNPO愛知ネットと連携して事業を展開した。

NPO愛知ネット理事長 天野 竹行氏  
NPO愛知ネットの理事長を務めるほか、あいち被災者支援センターを運営。東日本大震災後は岩手県気仙郡(大船渡市・陸前高田市・住田町)にて被災地支援活動を展開中。09年から毎年企画している愛知県内のNPOファンドレイジングイベント「愛フェス」においても、被災地復興支援に力を入れている。

会場定員は502人、満席の場合は入れませんのでご了承願います。  
問い合わせ先 / 安城学園高校 電話0566-76-5105(坂田成夫 田代勝裕)  
主催 / 学校法人 安城学園 後援 / 安城市・安城市教育委員会・中日新聞社